

特42

842

柳
沢
一代
記



輝女佳者の美酒山崎の瑞味と
 予ゆき今日菊酒より七石余りと保
 ちて無下人ハ
 物羽中あつた
 一と文文
 中よ又は方へ今
 世の人と世の人
 と解は
 更中更へ
 女と打おハ
 アと文文と
 ありは瑞味
 新造虎也



柳沢出羽守

予ゆき今日菊酒より七石余りと保
 ちて無下人ハ
 物羽中あつた
 一と文文
 中よ又は方へ今
 世の人と世の人
 と解は
 更中更へ
 女と打おハ
 アと文文と
 ありは瑞味
 新造虎也



網吉公

輝女佳者の美酒山崎の瑞味と
 予ゆき今日菊酒より七石余りと保
 ちて無下人ハ
 物羽中あつた
 一と文文
 中よ又は方へ今
 世の人と世の人
 と解は
 更中更へ
 女と打おハ
 アと文文と
 ありは瑞味
 新造虎也

予ゆき今日菊酒より七石余りと保
 ちて無下人ハ
 物羽中あつた
 一と文文
 中よ又は方へ今
 世の人と世の人
 と解は
 更中更へ
 女と打おハ
 アと文文と
 ありは瑞味
 新造虎也

お吉 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう



お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

柳沢出羽守

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

須賀金弥

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

お吉の母 柳沢下へお吉の母の御座りませう

大連

とらふも甲斐

まへ後初めは

嵐あともま

藤原あま

まどとす

まどとす

初七日より

御臺所



井伊掃部頭

御明治十三年
届十二月三日

編輯兼 本野録中目主
出版人 荒川吉五郎

それ
あまの
あまの
あまの

